



診断結果の見方

診断チャートでたどり着いたタイプから、まずは自己分析をしてみましょう。
今回の診断では「適職—業界編」「適職—職種編」の2つを提示しています。
どんな業界・職種に向いているのか、ぜひ参考にしてみてください。

① 自己分析：自分はどんなタイプか見てみよう！

思考のタイプ：**ステップ思考型**

行動のタイプ：**活発型**

順序立ててものごとを理解し、積極的に取り組むタイプです。
手順やルールに従って能動的に働きかけることが得意です。



グリーン

動的

思考のタイプ：**発想自在型**

行動のタイプ：**活発型**

直観的にイメージでものごとをつかみ、積極的に取り組むタイプです。
すばやい判断や新規のことに取り組むことが得意です。



オレンジ

動的

行動：活発型

思考と行動のタイプ

思考：ステップ思考型

思考：発想自在型



グリーン

静的

思考のタイプ：**ステップ思考型**

行動のタイプ：**堅実型**

一つ一つ丁寧に理解し、努力を惜しまず着実に取り組むタイプです。
決められたことを正確に着実にこなすことが得意です。

行動：堅実型

オレンジ

静的

思考のタイプ：**発想自在型**

行動のタイプ：**堅実型**

イメージで物事をつかんで、一つ一つ丁寧に取り組むタイプです。
気遣いをしながら、着実に取り組むことが得意です。



② 適職「業界編」 どんな業界に向いているか見てみよう!

各ゾーンの 業界 の特徴

グリーン



動的

このゾーンの人、教育などニーズの変化が多少ある業界に向いています。例えば、教育産業でも、塾や語学教室など社会のニーズの変化に合わせて業態等を変化させていくような、変化がありながらも内容に真面目さや正確性を必要とする業界は、グリーン・動的のゾーンの人が向いています。

➔ 環境エネルギー、教育、製造業(軽工業)など

オレンジ



動的

このゾーンの人、サービス産業がマッチします。ニーズの変化が激しく、流行に左右される業界です。常に、世の中の変化を先読みして新しいことを提案していくことを必要とします。そんな業界には、新しいことを楽しんで取り組めるオレンジ・動的のゾーンの人が向いています。

➔ 観光、サービス、小売業など

グリーン



静的

このゾーンの人、インフラ産業がマッチします。社会の基盤となる業界です。技術そのものの進歩や発展はあっても、大きく形が変化するということが少なく、派手さはないですが安定感を必要とします。そんな業界には、安定した環境で力を発揮しやすいグリーン・静的のゾーンの人が向いています。

➔ 電機・ガス、農林水産、研究、製造業(重工業)など

オレンジ



静的

このゾーンの人、卸売業などインフラに近い業界、つまり社会を支えるベースとなる業界が向いています。例えば、情報通信業なら、プロバイダ等のベースとなる企業を指します。時折社会の変化に合わせながら社会の下支えとなる業界は、オレンジ・静的のゾーンの人が向いています。

➔ 情報通信業、卸売業など



業界と企業について

業界の分類は、官庁の分類から就活サポートサイト等の分類などで異なりますが、数には限りがあります。しかし、その業界に属する企業は中小・零細企業から大企業まで膨大です。同じ業界でも、企業によって扱う商品も異なれば、理念や社風も異なります。業界まで絞ることができたら、今度は企業ごとに理念や社風などを確認してみましょう。



業界と特性との関係について

業界には、その業界のもつ特徴があります。たとえばインフラ系の業界は、よほどの技術革新がないかぎり、変化は少なく、むしろ安定感を必要とする業界です。一方、IT系は現在変化の激しい業界で、日々の技術的な進歩や流行にも大きく左右されます。そのような業界のもつ特徴や雰囲気は自分の特性とマッチしているかを考えてみましょう。

③ 適職「職種編」 どんな職種が向いているか見てみよう!

各ゾーンの **職種** の特徴

グリーン



動的

一定に決められたルールの範囲内でありながら、積極性や大胆さを必要とする職種がマッチします。判断の基準となるルール等は明解で分かりやすく、そのルールを運用する際に人への積極的な働きかけや調整を必要とするような仕事です。ルールや基準が分かったら、あとは思い切って行動できるため、きちんとした思考と大胆さを兼ね備えたこのゾーンの人に向いています。



- 資材調達 ● 貿易業務(配船等)
- プログラマー(ゲーム系) ● 介護
- 品質管理(検査) ● 人事配置 など

オレンジ



動的

柔軟性と積極性を併せ持つこのゾーンの人には、常に新しい何かと向き合い、積極的に他へ働きかけることや大胆さを必要とする職種がマッチします。新しい顧客と常に対応したり、顧客に合わせて考えたりする、思考に柔軟性を必要とする仕事や、人への積極的な働きかけや人との調整が多い仕事に向いています。そんな仕事をワクワクした気持ちで楽しめるでしょう。



- 企画 ● 大型店舗 ● 営業(法人)
- 秘書(調整型) ● バイヤー ● 調理
- 現業(洋菓子) ● 設計(デザイン系) など

グリーン



静的

このゾーンの人には、劇的な改革よりも小さな工夫を積み重ねて改善し、生産性を上げていく粘り強い努力ができるため、決められたことを確実にこなしていく職種がマッチします。ルールや基準が明解で、それときちんと照合しながらコツコツ進めることが必要な仕事に向き、それが正しく最後までやり遂げられたことにやりがいを持ってほしい。



- 営業(個人・低額) ● 工場運営管理
- 法務 ● 試作(改良型) ● 経理
- 現業(コールセンター) ● 人事管理 など

オレンジ



静的

作業はコツコツやらなければいけなくても、思考には柔軟性や臨機応変さを必要とする職種がマッチします。マニュアル化が難しく、顧客等によって対応を変えることが必要な仕事において、この変化を楽しめ、変化があることで飽きずに好奇心を持って取り組める人でしょう。変化がありながらも、作業そのものは着実・堅実に進める必要のある仕事に向いています。



- 研究 ● システム開発 ● 秘書(管理型)
- SE ● 個人店舗 ● 営業事務
- バイヤー ● 試作(開発型) など



職種と特性との関係について

職種とはその企業の中に必要な「機能」を意味します。企業の活動が分解されたものが職種になっているといえます。たとえば、製造業であれば、材料等の仕入から製造、出荷の製造活動の一連の流れが「購買」「製造」「生産管理」「品質管理」「出荷管理」などのように部署に分解されています。その「機能」に必要な思考や行動、判断がその職種に必要な「資質」といえます。それが自分の特性とマッチしているかを考えてみましょう。



業種と職種のマッチングについて

業界とのマッチング、職種とのマッチングがありますが、重視すべきは職種とのマッチングです。実際に日々の仕事の内容は職種によって決まります。事務職あるいは総合職といった募集が多く、選べないケースも多いですが、自分にマッチする職種を募集しているか調べてみるとよいでしょう。